

上 広 第 2 4 8 号  
令和6年 8月26日

上尾市議会議長 田中 一崇 様

上尾市長 島 山 稔



請願の送付及び処理の経過並びに結果報告請求について（報告）

令和6年6月24日付け上議第315号で請求のありました標記の事項について、  
下記のとおり報告します。

記

件 名 請願第3号 ヤングケアラー調査に関する請願

報告事項

令和4年度に本市が実施したヤングケアラー実態調査によりますと、何らかの悩みを抱えている子どものうち、「悩みがあっても話しはしたくない」と回答した人は、小学生が23.0%、中学生が20.3%となっており、身近な人への相談に心理的な抵抗や負担があると感じる児童・生徒が一定数存在することがわかりました。そのため、ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげるために、まずは周囲の大人がその存在に気づき、ヤングケアラーが安心して自身や家庭の状況を話せる関係づくりが重要であることから、相談窓口の案内チラシの配布や教育・福祉関係機関等を対象とした出前講座などの啓発事業を行い、支援体制の構築に取り組んでいるところ です。

ヤングケアラーを個別に判断するための調査につきましては、身近な人を介さず、本人が直接、相談窓口につながる方法や本人の心理的負担に配慮し、直接、子ども家庭総合支援センターが状況を把握できる方法、具体的には児童生徒1人に1台貸与されているICT端末の活用について、今年度中に実施する予定で準備を進めております。

なお、把握したヤングケアラーに対する支援にあたっては、こども自身の心情や家庭の状況に配慮した方法を検討し実施してまいります。

